

幼児期の「協同性」を土台に、「協働性」を育むために

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の一つに「協同性」が挙げられています。具体的には、友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる姿のことです。この姿が、多様な考えに触れ、試行錯誤しながら学習目標の達成へと向かう、就学期の「協働性」へと向かっていきます。

生活科は、教科等間の横のつながりと、幼児期からの発達段階に応じた縦のつながりと、結節点として重要な教科です。幼児期の「協同性」が、生活科やその後の総合的な学習の時間にどのようにつながっていくのか、また、つなぐための環境設定や支援はどうすればよいのかを示しました。

	協同性	協働性	
	幼児期（遊び）	低学年（生活科） 中高学年（総合的な学習の時間）	
時期	遊びの芽生え	自覚的な学び	
多様な考えに触れ、試行錯誤する姿	遊びを通して、 ○考えを伝え合う姿 ・おもしろくなるよう工夫する ・ルールを決めたり、つくり変えたりする ・友達と役割分担する ・問題点に気づいて修正する 等 ★考える、表現する、と活動が区切られるのではなく、遊びの中に、思考・表現が一体となって表れる	具体的な活動や体験を通して、 ○考える姿 ・分析的に考える（見付ける、比べる、例える） ・創造的に考える（試す、見通す、工夫する） ○表現を楽しむ姿 ・相手や目的に応じて、伝えたいことや伝え方を選ぶ ・言葉、絵、動作、劇化する	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、 ○多様な情報を整理・分析して考える姿 ・情報を吟味する ・順序付ける、比較する、分類する、関連付ける、多面的（多角的）に見る、理由付ける、見通す（結果を予想する）、具体化する、構造化する ○表現を工夫する姿 ・相手意識や目的意識を明確にする ・話し手…要点を絞って伝える（図・表・視聴覚機器・プレゼン等） ・聞き手…内容が深まるよい質問やアドバイスをする
	○新しいアイデアを生み出す姿 ・一人では思いつかない発想をする	○新たな気づきを自覚する姿 ・無自覚な気づきを自覚する、個別の気づきを関連化する、自分自身の成長に気付く	○新たな課題を自覚する姿 ・多面的、多角的に俯瞰して捉えたり考えたりし、次の目的や課題を明確にする
	○自己主張したり我慢して受け入れたりする姿 ・意見がぶつかり合い、折り合いをつけることを繰り返しながら協力する楽しさを味わう	○自他の違いを認め合う姿 ・友達の良さを感じ、互いの違いを認めて理解し合い、受け入れたり共感したりする	○自他の良さや可能性を尊重し合う姿 ・異なる立場、異なる考えをもつ相手のことを認め、相互に良さを生かす合う
	○幼児の関わりを予想して、遊具や用具、素材の種類、数量及び配置を考える ○活動の区切りや一日の生活の終わりに楽しかったこと等の情報交換をし、友達と目的をもって継続した遊びを展開できるようにする	○試したり繰り返したりできる活動を設定する ○伝え合い、交流、振り返りの場を設定する	○具体的で発展的な教材を用意する ○考えを可視化、操作化できるようにする（ホワイトボード・思考ツール等）
		各教科との関連を図る	
環境			
教師の支援	○適切な援助（手助け、情報の提供、尋ねる等） ・理解者（共感的に理解）	○情動的支援（提案・確認） ○思想的支援（問い返す・考えをつなぐ） ○活動と思考が一体的な低学年や、無意識の中に疑問や関心が存在している中・高学年の特性から、教師は活動中や日常生活のつづきを受け止め、全体交流に生かす ・共同作業者	○憧れを形成するモデル

一年生の授業例（他教科）

1年生：国語 かんじのはなしオリジナルかんじカードをつくらうー（全5時間）

単元目標：漢字の成り立ちに興味をもち、漢字の読み方や書き方を知って、正しく使うことができる。

(1) 漢字カードで遊ぼう！（1/5時間目）
◆絵カードと漢字カードを合わせる活動を通して、漢字の成り立ちに興味をもつ。

山は、やまの形に似ているね。 もっといっぱいカードがあれたよね。保育でも、かるたを作ったよね。できそう！

漢字のひみつを見つけたね。他の漢字はどうだろう。 楽しそうだね。自分たちでも作ってみよう？ 友達のカードと合わせたら、たくさん遊べるね。

(2・3) 自分たちでカードを作って遊ぼう！（2,3/5時間目）
◆カードを作り、友達とゲームをする活動を通して、正しい漢字の読み方や書き方を知る。

「田」って漢字を調べてみよう。 作ったもので遊んでみよう。 「月」は、こんなふうに変身して作られたんだね。 こを直すといじじゃない？

〇〇さんが調べていたよ。一緒に見てみようか。 とめ・はね・はらいができていたね。 カードにもう一回書いてみよう。

(4) 漢字カード大会をしよう！（4/5時間目）
◆漢字カード大会を通して、自分や友達の頑張りを振り返り、これからの漢字学習への意欲をもつ。

もう一回やろう。 絵と漢字の形がそっくりに書けているね。 この勉強で、漢字の成り立ちが分かったよ。 もっといろんな漢字を勉強したいな。

友達のカードの「いね」は何かな？ どんなことが分かったかな。 ※定着を図る時間（5/5時間目）

おたすけコーナー

学習の足跡や作ったカードを掲示し、全体で共有する。

本の中の漢字を選び、主体的に活動に取り組める。

友達と作ったり遊んだりする。

座卓

ホワイトボード

つくるコーナー

使いたい道具を使って制作を進める。個人の箱に制作中のカード等を入れておき、休み時間にも活動できる。

買い物・会計コーナー

他教科と関連させて商品を作り、友達と買い物を楽しむ。

買ったものを見合い、気付いたことを書く。休み時間にも活動できるよう、道具を教室の隅に置いておく。

買ったものごと、友達と遊ぶことを楽しむ。

買った役と売る役で役割分担をし、やり取りを楽しむ。

お金模型やメモ用紙を使って計算したり、友達と教え合ったりする。

ピクニックコーナー

1年生：算数 たしざんーかいものごっこをしようー（全8時間 本時第1時）

単元目標：1位数どうしの繰り上がりの加法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができる。

(1) 小遣いを持ってお買い物しよう！
◆これまでの買い物経験を想起し、学習への意欲付けを図る。

商品に値札を付けなとね。 保育でも、買った物ごっこをしたね。お金も自分たちで作ったよ。 保育での経験を引き出し、幼児期の学びを生かせるようにしよう。

園で買ったものを、買い物ごっこでみんなに見てもらいたいな。 他教科と関連させ、思いや願いをもって取り組めるようにしましょう。

(2・3) 小遣いいっぱいにお買い物できるかな？
◆自分なりに買い物をするために、既習事項を基に考える。

金額を上げて、15円でこれだと15円で買えないよ。 10円ぴったりになるには、たしざんをどうする？ いろんな組み合わせがありそうだね。 なぜ分かったの？ だって、これで10円。あとが6円。10と6で16円だから。

たくさん買って10円に 途中式を書きながら買い物をする、便利だね。 買い物中の困り感を受け止め、尋ねたり提案したりしよう。

(4) 何を買ったのか、全体でお話しよう！
◆繰り上がりのたしざんにつながる「10のまとまり」を意識できるようにする。

私は、こんなものを買いました。 確かに15円になっているね。 どれも、10のまとまりを作って計算しているね。 9+6も15だよ。だって… 9+6も10のまとまりができそうだよ。

〇〇さんが途中式を書いていたので、私も書きながら買い物しました。 計算を見て、似ているところはありますか？ ホワイトボード等を用いて可視化、操作化し、全体で計算のポイントを確認しましょう。